

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
第 25 期（2024 年 7 月～2025 年 6 月）通常総会
議案書

- ・ 第 1 号議案 第 24 期（2023 年 7 月～2024 年 6 月）事業報告
- ・ 第 2 号議案 第 24 期（2023 年 7 月～2024 年 6 月）決算報告
- ・ 第 3 号議案 第 25 期（2024 年 7 月～2025 年 6 月）事業計画
- ・ 第 4 号議案 第 25 期（2024 年 7 月～2025 年 6 月）予算

日時：2024 年 8 月 24 日（土）17:30～19:00

場所：はまどま（横浜市南区宿町 2-40-119）

第1号議案 第24期事業報告（2023年7月～2024年6月）

第24期は「コロナ明け」といえる状況となったが、全主催事業への参加者数はのべ2,427名と最多であった昨期から約9%減少した（21期2,270名→22期2,459名→23期2,669名）。要因としては、「もったいないから竹細工」（816名→737名）と「トンボとり大作戦」（525名→380名）の減少が影響している。もっとも、最近5期分の平均参加者数2,429であるから、昨期が多かったといえるだろう。

「はまどま」に関しては、2023年6月からは2代目のコーディネーターが入り、「はまどま」を利用してもらう際の基本的な考え方やルールづくりを進め、2024年4月に案内情報をとりまとめてウェブページに掲載した。「はまどま」の利用を促すためには、興味関心を持っている人に向けた適切な情報発信が課題である。

収支については、受託事業収入が堅調なことから10期連続で黒字となった。今期も、よこはま夢ファンドを通して寄付を集めて助成金として活用できていることも財務状況の安定化に役立った。一方、運営メンバーの流動性が低く、高齢化が進んでいることから、財務基盤が確かなうちに将来の環境・社会・経済状況の変化を見通し、計画性を持って「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかす仕事づくり」をすすめる必要がある。

自主事業

里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

1. ヤマ事業

1) NORAの山仕事

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）において、「森の中で憩える空間」づくりを継続的におこなっている。第24期は、苗場奥のエリアにおいて立ち枯れ木の除伐などを進めたほか、除伐した木の運材や製材もおこない、林内整備を充実させることができた。

毎月第2・第4日曜日の定例活動は、雨天のため4回中止したが、参加者数はのべ358名（昨期307名）で、定例メンバーの定着もみられた。また、ジボダンジャパン（株）や神奈川スバル（株）の企業研修を受け入れ、前者からは森林整備のために寄付金をいただいた。森づくり活動レベルアップ研修には、3期生2名が最終審査を合格でき、4期生向けの研修実施も決まっている。「やま守り編」では、外部委託事業の実施や林内の設備補修などをおこない、のべ47名（昨期45名）の参加者を集めた。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/9（日）	雨天中止	-	-
7/22（日）	機械除草、製材、廃材玉切り、丸太皮むき、森ごはん	9	1
8/13（日）	雨天中止	-	-
8/27（日）	機械除草、玉切り、皮むき、物置整理	15	1
9/10（日）	実生木除伐、丸太皮むき、製材、廃材玉切り、人力除草	22	1
9/24（日）	製材、機械除草	11	1
10/8（日）	機械除草、廃材玉切り、廃材置き場補修、皮むき、人力除草	14	1
10/22（日）	機械除草、廃材置き場補修、板材加工、運材	14	1
11/12（日）	土留め施工、林床整理、廃材玉切り	7	1
11/26（日）	間伐、土留め施工、運材、植栽の移植、グリーンウッドワーク	21	1

12/10 (日)	土留め作業、間伐、運材、玉切り	16	1
12/24 (日)	立ち枯れ木除伐、薪割り、大掃除	20	1
1/14 (日)	立ち枯れ木除伐、製材、苗場人力除草	13	1
1/28 (日)	立ち枯れ木除伐、運材、玉切り、製材、グリーンウッドワーク	17	1
2/11 (日)	伐倒作業、広葉樹玉切り、製材、薪割り、植栽管理	17	1
2/25 (日)	雨天中止	-	-
3/10 (日)	除伐、運材、植栽管理、薪割り	22	1
3/24 (日)	除伐、運材、林床整理	24	1
4/14 (日)	植栽管理、設備補修、資材加工、運材	22	1
4/28 (日)	企業研修受入準備、設備補修、グリーンウッドワーク	17	1
5/12 (日)	運材、設備補修 (防鳥ネット)	12	1
5/26 (日)	運材、製材、機械人力除草、設備補修、グリーンウッドワーク	22	1
6/9 (日)	運材、製材、機械除草、除伐、蜜ろうづくり	23	1
6/23 (日)	雨天中止	-	-
		338	20

【やま守り編】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
9/27 (水)	新治草刈り委託作業	7	1
10/4 (水)	新治草刈り委託作業	8	1
10/11 (水)	新治草刈り委託作業	6	1
12/28 (木)	焼却炉補修	1	1
1/30 (火)	焼却炉補修	0	1
4/29 (月祝)	神奈川スバル (株) 研修	13	1
5/5 (日祝)	設備補修 (資材置き場増設)	5	1
		40	7

2) 竹を活かす山仕事

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大し、農地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、原則月1回、中井町でお世話になっている農家とその親戚が所有する民有地で竹林を整備した。

第24期も「もったいないから竹細工」の事業収入によって運営費用を捻出できた。定例メンバーが少しずつ定着してきている。第24期の参加者数は、のべ76名 (昨期88名) であった。酷暑の期間が長くなっているために、来期は7月も活動を休み、7~9月を休止期間とする。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/30 (日)	竹林整備、材の伐り出し	6	1
10/15 (日)	竹林整備、材の伐り出し	4	1

11/19 (日)	マーキング、材の伐り出し、竹林整備	7	1
12/17 (日)	竹林整備、材の伐り出し	8	1
1/21 (日)	雨天中止	-	-
2/18 (日)	竹林整備、材の伐り出し	7	1
3/17 (日)	竹林整備、材の伐り出し	6	1
4/21 (日)	竹林整備、材の伐り出し	11	1
5/19 (日)	竹林整備、材の伐り出し	10	1
6/16 (日)	竹林整備、材の伐り出し	8	1

67 9

3) よこはま里山レンジャーズ (連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会 (NAREC))

本事業は、里山保全活動を始めようとする主として若い世代と、活動支援を必要としている既存の活動団体とをつなぐマッチングプログラムである。NAREC の「レンジャーズプロジェクト」に登録したボランティア「レンジャー」(4893 名、2024 年 3 月 31 日時点) に対し出動要請 (受入団体と活動内容が調整された活動予定) が発信される。レンジャー隊員は出動要請に返信するだけで活動に参加することができる。活動当日は 10~20 名程度のレンジャーが集まり、レンジャーズリーダーの誘導のもと受入団体の活動に参加するため、一人でも安心して参加することができる。

第 24 期は、レンジャーズで活動をおこなっていたフィールドを横浜市の受託事業である横浜森の助っターズに移行したため、市内 4 か所のフィールドにおいて 4 回の活動を実施し、参加者数は 35 名 (昨期 7 回実施、68 名参加) でとなった。

回	実施日	実施場所	受入団体	参加者
1	10/28 (土)	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	7
2	11/5 (日)	恩田の谷戸	恩田の谷戸ファンクラブ	11
3	12/16 (土)	桜ヶ丘緑地	桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト	5
4	6/8 (土)	元町公園プール	横浜にとんぼを育てる会	12

35

4) 都市の里山資源の活用推進事業 (令和 5 年度「緑の募金」公募事業)

NORA が目指す「かつての里山のように暮らしと里山との距離を近づける」ための活動として、グリーンウッドワーク (生木を手道具で削って作る木工) により川井緑地の保全活動で産出する間伐材等の里山資源の活用推進を図った。

第 24 期は国土緑化推進機構「緑の募金」の助成を得て、グリーンウッドワークショップを 10 回開催し、参加者数は合わせて 45 名 (昨期 49 名) であった。

【グリーンウッドワークショップ】

回	実施日	内容	参加者
1	9/24 (日)	鍋敷き	1
	10/22 (日)	はつり台、木槌 (中止)	-
2	11/26 (日)	木べら	1
3	12/24 (日)	箸	1
4	1/7 (日)	特別講習会 (NPO 法人グリーンウッドワーク協会) スプーン	8

5	1/28 (日)	スプーン	2
	2/25 (日)	スプーン (雨天中止)	3
6	3/24 (日)	子どもスツール	3
7	4/28 (日)	子どもスツール	4
8	5/5 (金祝)	指導者向け講座	7
9	5/26 (日)	ニマ風の器など	4
10	6/24 (日)	我谷盆 (NPO 法人グリーンウッドワーク協会)	11

45

5) 山道具の安全使用 (提携：株式会社シンコー)

株式会社シンコー社とサブ店契約を締結 (2011 年 6 月) して、チェーンソーメーカー (スチール STIHL) の二次代理店業務を担い、環境に配慮しつつ安全性を高めた緑地保全活動用の機材使用の啓発をすすめてきた。利用実績がなくなったことから、第 24 期をもって活動を終了する。

6) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり | 環境 NPO 運営スタッフ懇談会

環境 NPO の運営を担うスタッフが個人の意志から集い、自団体の経験をオープンにして学び合う懇談会を 2020 年 8 月に立ち上げた。東京・神奈川・大阪・福岡に事務所を持つ環境 NPO から 15 名が原則毎月第 4 水曜日夕方にリモートで集い、生物情報ビッグデータ、土中環境、自然共生サイト、寄付金調達、パーク PFI、人材育成、安全管理などについて経験を共有した (第 24 期は 8 回開催)。

7) 安全で楽しい森林の保全・利用を指導できるリーダー養成事業

(令和 5 年度「緑と水の森林ファンド」助成、主催：モリダス)

モリダスは、横浜・多摩地域で森林づくり・里山保全活動を実践してきた市民が、適切なメソッドを持って人材育成を図る必要性を感じ、2018 年 3 月に設立した任意団体である。NORA は、モリダス主催のリーダー養成事業を共催するかたちで緊密に連携を図っている。

第 24 期も「緑と水の森林ファンド」から助成金を得て、モリダス主催事業「安全で楽しい里山保全活動を指導できるリーダー養成」を共催した。

森づくりレベルアップ研修 3 期生で step3 まで進んだ 4 名のうち 3 名が研修・審査を受け、2 名が合格した。講座内容については、手道具とロープワークで安全に伐木できることを目標にしたプログラムが、講師都合とニーズが乏しいことから中止した。代わりに、里山保全活動をネイチャーポジティブ (自然再興) に向けて進めることを意識して講座を企画したところ、生態系を高めるための草刈り実践講座は好評だったので、今後も生物多様性と絡めた講座を予定している。また、今年の講座をもとに制作した動画「生物多様性を豊かにする里山づくり」を YouTube に公開した

今後の森林づくり・里山保全の担い手をテーマに開催したオンラインフォーラムは 100 名を超える参加者に恵まれ、社会的に関心が高いことがわかった。この議論を通して、無償ボランティアではなく、セミプロや複業として関わる担い手を想定し、人材育成を図っていくという方向性が見えた。

実施日	実施場所	タイトル	参加者	スタッフ
2/17 (土)	川井緑地	森づくり活動レベルアップ研修 step3 のための自主練習	4	1
2/18 (日) 3/2 (日)	長池公園	森づくりレベルアップ研修～手道具 (鋸・鉋・鎌・鋏の基本的な扱い方 (講師：関美知夫さん))	8	2
4/27 (土)	1-2 日目は三輪	森づくり活動レベルアップ研修・審査 Step3	3	2

4/28 (土) 5/19 (日)	緑地、3 日目は 川井緑地	～手道具とロープワークで安全に木を倒す (講師：高澤愛さん)		
5/18 (土) 5/19 (日)	にいはる里山 交流センター	チームワークを高める環境リーダー研修 「コミュニケーションでつくる安全で楽しい ネイチャーポジティブ」(講師：志賀壮史さん)	6	1
6/1 (土)	長池公園	里山のネイチャーポジティブ実践講座 (初夏 編)～生態系を豊かにする草刈りの時期と方法 (講師：小林健人さん)	15	3
6/28 (金)	オンライン	フォーラム「森林づくり・里山保全活動は、誰 がどのように担っていけばよいのか？」(出演 者：瀧口邦夫さん、寺川裕子さん、鹿住貴之さ ん、関美知夫さん、赤羽誠さん、松村正治)	101	3

135

12

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と

丹沢東麓に位置する厚木市・伊勢原市の里山における活動で、2014年にスタートし第24期で10年目を迎えた。活動の目的は農地管理が第一だが、参加者を増やすために「自然の中での様々な活動を通じて幅広い年齢層・異分野の人々が集い、有機的に結びつく空間の創造」を目標として、この土地に多くの人が関心を持ち、活動に来ることが楽しいと思える活動をおこない、持続するシステムをつくろうと考えている。

第24期の特徴は、3点挙げられる。

畑：畑の集約化のため、離れていた1筆を返還した。昨年同様、畑での収穫イベントなどは開催しなかった。また、維持管理の点では、スタッフの増員により負担が軽減した。収穫したニンニクを定期的に置かせてもらえる場を確保した。

水田：米づくりを始めて8年目を迎えた。20期から導入した紙マルチを今期も導入した。田植えイベントの募集人数の拡大、草取りイベントの日程を9月上旬から8月下旬と変更、田植えイベントの参加者へのお米の配布などを検討・実施した。

イベント：これまでイベント会場として借用していたスペースの管理主体となった。これにより、音楽イベントやBBQ、焚火体験など、様々なアイデアが提案・実施されている。

第24期の活動日は計48日(16期77日→17期72日→18期63日→19期37日→20期56日→21期41日→22期27日→23期45日)で、第23期と比べて3日増え、およそ週1日のペースで活動をおこなった。ここ数年スタッフの疲弊を考慮して効率的に作業をおこなってきたが、イベント日数の増加によりその準備等の負担が大きくなった。参加者ののべ人数は479名(16期494名→17期367名→18期281名→19期258名→20期326名→21期246名→22期244名→23期445名)となっており、第23期と比較して参加者数が微増した。これは、収穫祭やBBQ等人的集まるイベントが再開したことによると考えられる。イベントの開催など少しずつ日常が戻るなかで、資源のさらなる有効活用を模索したい。

実施日		回	活動内容	参加数
7月	2(日)5(水)16(日) 17(月)	3	ニンニク収穫、草刈り、水田草刈り、畑草刈り※田んぼ 水見回りは毎日、キーホルダー作り、レーザークラフト	9
8月	27(日)	1	畑草刈り、耕耘、田んぼ点検、キーホルダー作り、水田	59

			草刈り、水田草取りイベント参加者 56 人（大人 30、こども 26）、かかし設置、	
9 月	2 (土) 9 (土) 10 (日) 16 (土) 17 (日) 23 (土) 28 (木)	7	クラブハウス草刈り、畑の草刈り、ミョウガ収穫、水田草取り、栗拾い	15
10 月	8 (日) 14 (土) 21 (土) 28 (土) 29 (日)	5	木工、キーホルダー作り、稲刈り準備、水田草刈り、稲刈り参加者 27 人（大人 17、こども 10）、かかし撤収、粃摺り、稲刈りイベント（稲刈り、ハザカケ、脱穀）参加者 38 名（大人 23、こども 15）、畑耕耘、楽器練習	77
11 月	4 (土) 7 (火) 12 (日) 23 (木) 25 (土)	5	粃摺り、畑耕耘、草刈り、小豆収穫、マルチ張り、ニンニク植え付け、レーザー彫刻、ピザ・BBQ・音楽イベント 10 人（大人 5、こども 5）、木工、ミカン収穫	27
12 月	3 (日) 17 (日)	2	藁引き取り、収穫祭イベント（精米、調理等、レーザー彫刻）参加者 60 人（大人 34、子ども 26）	62
1 月	2 (火) 6 (土) 7 (日) 28 (日)	4	チューリップ球根植えつけ、クラブハウス草刈り、金柑収穫、田んぼ片付け、畑作業、ミカン収穫、イベント準備、ワラ・ハザカケ棹撤収	17
2 月	3 (土) 10 (土) 17 (土) 23 (木)	4	草刈り、畑整備、粃摺り、クラブハウスにトイレ設置、イベント準備、ピザ・音楽イベント 60 人（大人 33、こども 27）	70
3 月	2 (土) 10 (日) 23 (土) 30 (土)	4	田んぼ草刈り、キーホルダー作り、野菜収穫、田・畑の耕耘、レーザー彫刻、畑の草刈り	14
4 月	6 (土) 10 (水) 13 (土) 20 (土) 27 (土) 28 (日) 29 (日)	7	お花見、用水路清掃、草刈り、土筆採り、野菜収穫、クラブハウス草刈り、木工、笹刈り、耕耘、鍋パーティー	28
5 月	3 日 (金) 12 (日) 25 (土)	3	BBQ、用水路清掃、畑草刈り、玉ねぎ収穫、水田耕耘、畑耕耘、草刈り、ニンニクの芽収穫、種まき	15
6 月	1 (土) 8 (土) 15 (土) 16 (日) 22 (土) 23 (日) 24 (土)	7	ニンニク収穫、水田草刈り、水の引き込み、代掻き、畑耕耘・草刈り、紙マルチ準備、稲苗準備、田植え体験イベント 51 人（大人 30、こども 21）、田植え 6 人（大人 3、こども 3）、BBQ、キャンプ、クラブハウス草刈り	86

2) 城山里山サポーター（東京ガス「森里海をつなぐプロジェクト」）

<実施期間： 2023 年 4 月～2024 年 3 月>

2016 年から東京海上日動火災保険（株）の協賛により、旧城山町（相模原市緑区）で続けてきた親子向け自然体験プログラムは 2 期 6 年間で終了した。その後、東京ガス（株）の「森里海をつなぐプロジェクト」に選ばれ、人手が足りないときに気軽にお手伝いに行ける関係づくりのために、地域の人と一緒に里山を守る「城山里山サポーター」を募集し、第 24 期末までに 17 名のサポーター登録があった。しかし、増加する耕作放棄地を再生させるには人も資金も不足していることから、イベント開催時など限定的な協力関係となった。

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

「はまどま」発足後、2024年6月で丸15年が経過した。街なかの里山の入り口、里山を暮らしにいかす実践の場として多様な企画を実現してきた。地域の皆さんの暮らしに役立つ場としても、宮宿花1・2丁目町内会、蒔田公園愛護会、大岡川アートプロジェクト「光のぶろむなあと」実行委員会などに参加し、信頼関係を積み重ねてきた。第24期もコロナ禍の影響により、飲食を伴う活動は制約を受けたが、竹細工では多くの参加者を集めることができた。街なかで里山を体験できる「はまどま」の可能性は大きいと思われるので、この場所の価値を地域の皆さんをはじめ周知していきたい。

(1) NORA 野菜市

毎週火曜日 17~19時、大和ビル駐車場にて、神奈川県内・生産者限定の野菜市として開催し、2023年5月までに18年半継続してきたが、2023年6月から担当者の体調不良のために休止した。その後、復活をめざしたものの活動の再開は困難となり、2024年4月をもって終了となった。

(2) 生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会

新型コロナウイルスの感染を危惧して開催を見送ってきたが、野菜市の休止・終了とともに開催ができないままとなっている。

(3) もったいないから竹細工

里山では手入れされない竹林が生い茂り、邪魔物として扱われている。かつて有用だった竹を生かさないのはもったいないので、竹林整備の際に出てくる竹材を有効に生かすために竹細工を製作している。毎月第4土曜日開催の竹かご教室では、講師に指導を受けながら全10回で六つ目編みを基本とした竹かご5作品をつくる。第1水曜・第2土曜・第3木曜・第4月曜日開催の竹細工工房では、竹かごを編むための竹ひごの準備のほか、竹へら・菜箸・パスタフォークなど(カトラリー)、さまざまな食器もつくっている。

第24期では、8月にアドバイザーが1名辞めた影響から、参加者数が安定しなくなった。24期の事業参加者数は、竹かご教室のべ47名(昨期83名)で、竹細工工房はのべ596名(昨期630名)、自主練習はのべ94名(昨期103名)、合計のべ参加者数は686名(昨期733名)となり、その内の一般会員への入会者数は63名(昨期93名)だった。ほかに、4月23日(火)~25日(木)の日程で、寄付金を活用して大分県別府市を訪ねる竹細工研修ツアーを実施した。

【竹かご教室】

実施日	参加者	スタッフ	実施日	参加者	スタッフ
7/22(土)	5	2	1/27(土)	-	-
8/26(土)	6	1	2/24(土)	2	1
9/23(土)	2	1	3/23(土)	3	1
10/28(土)	3	1	4/27(土)	3	1
11/25(土)	3	1	5/25(土)	3	1
12/23(土)	3	1	6/22(土)	2	1

【竹細工工房】

実施日	参加者	スタッフ	実施日	参加者	スタッフ
7/5 (水)	14	3	1/10 (水)	12	2
7/8 (土)	12	3	1/13 (土)	7	3
7/20 (木)	7	3	1/18 (木)	8	2
7/24 (月)	11	3	1/22 (月)	8	3
8/2 (水)	12	2	2/7 (水)	11	2
8/12 (土)	5	3	2/10 (土)	11	3
8/17 (木)	10	3	2/15 (木)	8	3
8/28 (月)	12	3	2/26 (月)	8	3
9/6 (水)	14	2	3/6 (水)	11	2
9/9 (土)	8	3	3/9 (土)	11	3
9/21 (木)	10	3	3/21 (木)	7	3
9/25 (月)	11	3	3/25 (月)	8	3
10/4 (水)	12	2	4/3 (水)	7	2
10/14 (土)	12	3	4/13 (土)	13	3
10/19 (木)	6	3	4/18 (木)	6	3
10/23 (月)	10	3	4/22 (月)	7	3
11/1 (水)	13	2	5/1 (水)	6	3
11/11 (土)	8	3	5/11 (土)	13	3
11/16 (木)	10	3	5/16 (木)	12	3
11/27 (月)	12	3	5/27 (月)	12	3
12/6 (水)	7	2	6/5 (水)	16	2
12/9 (土)	7	3	6/8 (土)	13	3
12/21 (木)	8	3	6/20 (木)	6	3
12/25 (月)	5	3	6/24 (月)	6	3

463 133

【自主練習日】

実施日	参加者	スタッフ	実施日	参加者	スタッフ
7/1 (土)	7	2	1/6 (土)	9	2
8/5 (土)	8	2	2/2 (土)	4	2
9/2 (土)	5	2	3/2 (土)	5	2
10/7 (土)	4	3	4/6 (土)	9	2
11/4 (土)	6	2	5/4 (土祝)	4	2
12/2 (土)	5	2	6/1 (土)	3	2

69 25

(4) はぶすばラボ

第 24 期も、ハーブ・スパイス研究・実験としての料理作りと試食を主とした活動をおこないながら知識と技術の向上に努め、のべ 59 名（昨期 41 名）が参加した。担当者の都合により 2024 年 6 月をもって休止とし、今後は開催頻度を減らすなどして再開を考えたい。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
7/23（日）	はぶすばで手作りの和菓子を楽しもう	6	2
8/27（日）	あいがけカレー×4種のアチャールを作ろう	4	2
9/24（日）	世界の料理をはぶすば風に！～トルコ編	2	2
10/22（日）	秋はやっぱり和食でしよう	2	2
11/26（日）	ガレットでカフェランチ	4	2
12/17（日）	手打ちで作る”本格”生パスタ	2	2
1/14（日）	はぶすば流カラフル豆腐作り	2	2
2/18（日）	皮から作るカラフル餃子	3	2
3/17（日）	カラフル野菜で手鞠寿司	2	2
5/19（日）	アレンジいろいろ彩り野菜餡	1	2
6/16（日）	そば打ち体験～鶴そば×はぶすばコラボ企画	9	2

37

22

(5) はまどまで土間仕事

第 24 期は、例年通り味噌づくりは開催したが、梅の手仕事は梅が不作であったうえに担当者のタイミングが合わなかったため開催を見送った。今後は、ほかの食材の土間仕事も検討している。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
3/16（土）	川口糰店さんと春仕込みの手前味噌づくり	11	1

11

1

(6) 『食べもの通信』読者会

『食べもの通信』（家庭栄養研究会編集）は、安全な食べものと日本の食文化に根ざした健全な食生活と平和への願いから 1970 年に創刊した月刊誌である。さまざまな情報が溢れる中で、信頼度の高い新しい情報を学び合い、経験や考えを分かち合う場を作りたいと考え、2019 年 11 月から読者会を開始した。2020 年 8 月からコロナ禍に対応してリモートを併用したことで、本誌編集部や岡山・宮崎からも参加者を得られた。第 24 期、も茨城県筑波市に転居したメンバーやイタリア・フィレンツェに暮らすメンバーの参加も定着し、各地ならではの情報交換も楽しい。重たい内容や難しい内容の記事でも、一人で読むよりも理解が進みやすくなった。家庭栄養研究会の会員になった担当が地方運営委員を受けて、定例のリモート拡大運営委員会に参加するなど、活動の幅を拡げている。

回	実施日	内 容	参加者
40	7/10（月）	世界が注目する「耕さない農業」	7
41	8/14（月）	有機フッ素化合物による飲料水汚染	6
42	9/11（月）	どうする？どうなる？私たちの食料	3
43	10/16（月）	認知症を予防する食事・和食が脳を改善	5
44	11/13（月）	甘味料の健康への影響	5
45	12/11（月）	お菓子の誘惑	6

46	1/8 (月)	精進料理に学ぶ心身の健康にも環境にもプラス	4
47	2/12 (月)	増えている！おとなの食物アレルギー	3
48	3/11 (月)	春キャベツはエライ！春キャベツの健康効果	3
49	4/8 (月)	全国に広がる学校給食に有機農産物を	4
50	5/13 (月)	これだけは気をつけて、子どもの健康を守るために	5
51	6/10 (月)	異常気象の激化と日本の食料安全保障	5

56

(7) 里山の恵み・伝統文化と出会う上映会 (共催：郷土映像ラボラトリー)

民族文化映像研究所に約 130 本ある記録映画を中心とした上映会で、「郷土映像ラボラトリー」(主宰：中川美帆さん)との共催による。2020 年 3 月以降、コロナ禍により休止が続いた。

(8) はまどま諸々

会員が主体的に得意なことを教えたり、興味のあることを参加者と学び合ったりする活動である。第 24 期は開催なしであったが、第 25 期は開催予定である。

2) はまどま改革 (横浜市市民活動推進基金 (よこはま夢ファンド) 助成)

2020 年 8 月から、はまどまコーディネーターを中心に、「街なかの里山の入口」として利用しやすい環境づくりに向けた情報整理を進めてきた。コーディネーターがはまどまに駐在する時間を設け、郵便物・書類等の整理、報告記事アップ手伝い、室内清掃などをおこなってきた。

2023 年 6 月に新たなコーディネーターと業務契約を結び、従来の業務に加えて会員・会友情報の更新作業なども担当している。また、YCCN の会員を中心にコミュニティカフェを 8 件訪問するなど、はまどま改革の参考となる情報を収集した。

また、外部者がはまどまを利用するための流れを整理し、案内情報一式をとりまとめた。その情報をもとに、2024 年 5 月、ウェブページ「街なかの土間企画応援」(<https://nora-yokohama.org/join/?cat=206>)を開設し、プロジェクトの提案・実施を呼びかけている。

さらに、はまどまのプロジェクトについての情報発信として、紙媒体の「はまどま掲示板」を毎月作成してきたが、第 24 期に配布先に近隣の公共施設を加えるなど、見直しをおこなった。

3) 地域連携

- ・2024 年 5 月まで、子ども食堂「みんなみ～な広場」(フォーラム南太田)にて、紙芝居と民話の語り、民話に登場する動物の絵を描き、子どもたちにも動物の絵に色を塗ってもらったりした。はまどまでおなじみのメンバーも料理を担当するなど、地域との繋がりが深まっていつている。
- ・10/28 (日)、宮宿花 1・2 丁目町内会主催「ハロウィンパーティー」に参加。蒔田公園で受付を済ませた子供たちは町内有志店舗などを回り、町内会が用意したお菓子をもらう。NORA ではお菓子をプレゼント。200 名近くが参加し、町内会としても大きな取組みといて発展してきたが、「はまどま」を町内の子どもたちや若い世代の親たちに親しんでもらう取組みである。

4) ネットワーク

(1) 横浜コミュニティカフェネットワーク (YCCN)

2/13 (火)に開催された設立 10 周年記念の「横浜コミュニティカフェフォーラム」に参加、コミュニティカフェの価値や可能性についてディスカッションされた。

また、会員との交流を図り、その後カフェに訪問するなどネットワークを活用することができた。

4. ハレ事業

1) 設立 20 周年記念事業

(1) プロジェクト紹介動画

プロジェクトの魅力、現場の雰囲気、担当者の想いと参加者の声をまとめたプロジェクト紹介動画を公開した。第 24 期は 12 月「「もったいないから竹細工」へようこそ！」を公開した。「竹を活かす山仕事」プロジェクトとのつながり等を伝えた。来期は「間伐材を活かすグリーンウッドワーク」紹介動画を公開する予定である。

(2) 絵本『でんえんとし さとやまっ子』活用

絵本『でんえんとし さとやまっ子』（令和 4 年度「花博自然環境助成」）を活用するために、2024 年の 7/10（水）青葉台地域ケアプラザにて、「青葉台が里山だったころ」を共催する企画を立てた。高齢者が昔を回想することで活性することも考えての企画である。絵本活用は今後も続けていきたい。

里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

5. イキモノ事業

1) トンボはドコまで飛ぶかフォーラム

京浜臨海部において生物多様性に配慮した緑地の質の向上を目的に、2003 年より企業・市民団体・行政・専門家が協働で活動を開始したフォーラムに、NORA は 2015 年 1 月から参加している。第 24 期は、夏のトンボ調査等に参加したほか、本牧市民公園、根岸森林公園、富岡総合公園、長浜公園において 6 月～10 月にかけて指定管理者が主催する「トンボとり大作戦」の運営を担った。「トンボとり大作戦」への参加者数とマーキングされたトンボの数は下表のとおりである。

調査場所毎の参加者数

調査場所	6月	7月	8月	9月	10月	合計
本牧市民公園	2*	18	20	5	21	66
根岸森林公園	20	24	26	26	3*	99
富岡総合公園	13	9	12	24	11	69
長浜公園	60	45	25	13	3*	146
合計	95	96	83	68	38	380

捕獲・マーキングされたトンボの数

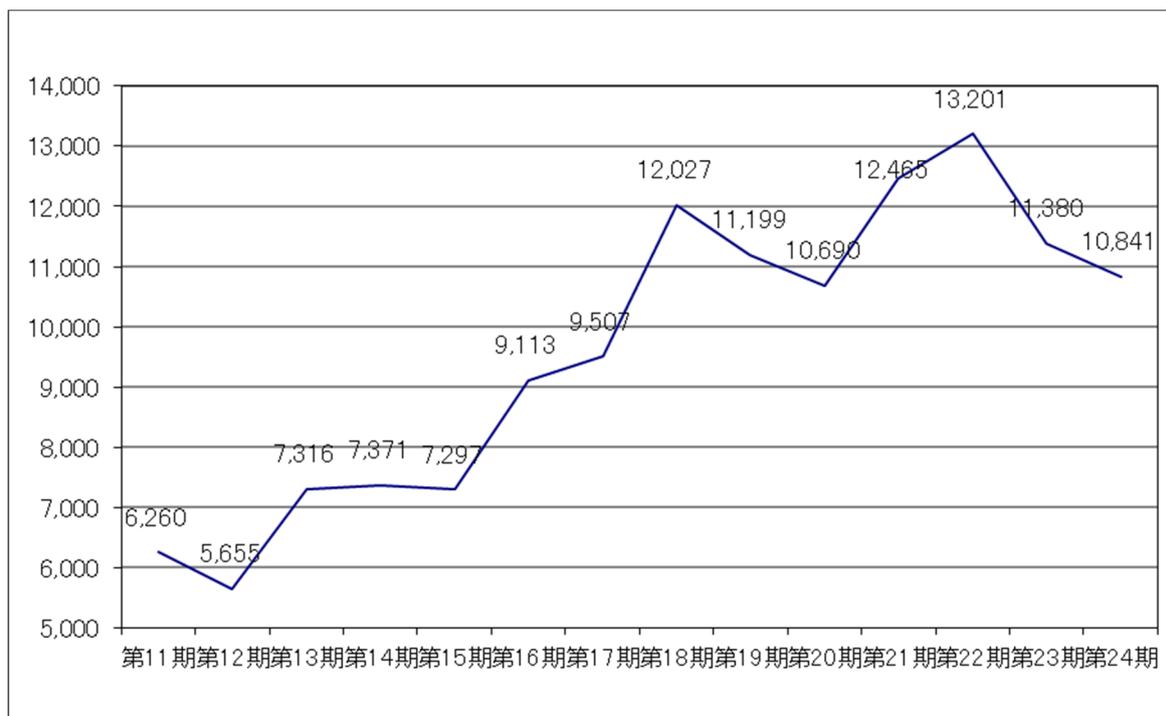
6月	7月	8月	9月	10月	合計
15	26	41	40	33	155
6	30	85	36	39	196
23	50	40	28	13	154
14	30	45	20	15	124
58	136	211	124	100	629

6月は第 23 期、※は大作戦当日雨天のため代替日にスタッフのみで調査実施

6. 広報事業

1) ウェブサイトの更新

第 24 期もイベントの告知・報告記事など情報発信をおこなった。月平均ページビューは 10,841（第 20 期 10,690→第 21 期 12,465→22 期 13,201→23 期 11,380）と、2 期連続で減少となった。要因としては、報告記事の投稿が滞りがちであったこと、コロナ禍における自然体験ニーズの高まりが落ち着いたことなどが考えられる。



2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

原則、毎月1日に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信した(第182~191号)。第24期末の時点で、NORAからブラストメールを利用して配信している数が2,433、メルマガ発行サービス「まぐまぐ!」からは192、合計で2,625アドレス(昨期2,566)に配信している。

3) ソーシャルメディアによる情報発信

第24期末のSNSのフォロワーは、Facebook1,944(第21期1,671→22期1,791→23期1,895)、X(旧Twitter)581(21期545→22期577→23期580)、Instagram877(21期521→22期693→23期776)となった。また、プロジェクト動画の制作を進めている効果から、YouTubeチャンネルの登録数は627(22期239→23期372)と順調に増えた。今後は、若い世代への情報発信を強化するために、ショート動画、リールなどの活用を進めたい。

4) 年間報告書の作成

「2023年活動報告」(A4、三つ折り)を作成し、会員・会友へ配布した。2022に年スタートした「間伐材を活かすGウッドワーク」を中心とした自主事業、絵本『でんえんとしさとやまっ子』発刊、よこはま里山カルタプロジェクトなど1年間の活動を紙面で報告し、年越し前に年会費振込みを促した。

協働・受託事業

里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

1) 保育所・小中学校等ビオトープ整備のアドバイザー派遣(横浜市みどり環境局環境活動事業課)

<実施期間:2023年4月~2024年2月、2024年4月~2025年2月>

2023年度は、当該事業でビオトープ整備を実施した小学校13校に対してフォローアップをおこない、過去にビオトープ整備した2校に対して管理方法等の支援をおこなった。また、10校に対してビオトープの整備・管理に関する支援を延べ18回実施した。

2024 年度も引き続き、市内小学校等に対してビオトープ整備に関する助言を実施している。

2) 長浜公園トンボ池等管理業務（公益財団法人 横浜市緑の協会）

<実施期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月、2024 年 4 月～2025 年 3 月>

2023 年度は、長浜公園（横浜市金沢区）のトンボ池や水田等ビオトープにおいて、市民を対象とした環境啓発、生物の生息空間の保全のための管理をおこなった。併せて、長浜公園と富岡総合公園でトンボ取り大作戦の運営をおこなった。2024 年度も継続して保全管理やトンボとり大作戦運営等を実施している。

3) 野島公園ビオトープ水路環境調査（公益財団法人 横浜市緑の協会）

<実施期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月、2024 年 4 月～2025 年 3 月>

2023 年度は、観音崎博物館が実施する水生生物・植生調査と連携したビオトープ池や樹林地の環境管理を実施した。2024 年度も引き続き環境管理を実施する。

4) 本牧市民公園、根岸森林公園トンボとり大作戦開催業務（横浜植木株式会社、公益財団法人 横浜市緑の協会）

<実施期間：2023 年 6 月～2023 年 10 月、2024 年 6 月～2024 年 10 月>

子どもたちにトンボとりを体験してもらい、くらしと街中での生きものとのつながりを認識してもらうため、本牧市民公園と根岸森林公園で 6 月から 10 月まで毎月 1 回トンボとり大作戦の運営を実施した。2024 年度も引き続き実施する。

5) 森づくりボランティア体験事業業務（横浜市みどり環境局環境活動事業課）

<実施期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月、2024 年 4 月～2025 年 3 月>

森を育む人材育成事業に登録された森づくりボランティアの活動推進と既存の活動団体の活性化を目的に、森づくり活動団体の活動へ森づくりボランティアが参加する「森づくり体験会」の企画、運営、参加者指導等の業務を実施した。

【初級編】

回	開催日	開催場所	受入団体	参加者
1	12/3（日）	綱島市民の森	綱島市民の森愛護会	12
2	12/10（日）	泉の森ふれあいの樹林	泉の森ふれあいの樹林愛護会	7
1	5/28（土）	金沢自然公園	かなざわ森沢山の会	12

【実践編】

回	開催日	開催場所	受入団体	参加者
1	11/4（土）	新治市民の森	なし	14
2	11/23（木祝）	新治市民の森	なし	9

【継続編】

回	開催日	開催場所	受入団体	参加者
1	7/29（土）	寺家ふるさとの森	なし	11
2	10/22（日）	寺家ふるさとの森	なし	9
3	12/16（土）	鴨志田公園	なし	11
4	1/13（土）	鴨志田公園	なし	13
1	6/22（土）	名瀬・上矢部市民の森	なし	10

【森づくりボランティア派遣（助っターズ）】

回	開催日	開催場所	受入団体	参加者
1	9/16（土）	中田宮の台市民の森	中田宮の台市民の森愛護会	14
2	10/29（日）	上矢部ふれあいの樹林	上矢部ふれあいの樹林の森愛護会	9
3	11/25（土）	上矢部ふれあいの樹林	上矢部ふれあいの樹林の森愛護会	8
4	1/20（土）	鴨居原市民の森	鴨居原市民の森愛護会	7
5	2/11（日祝）	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	8
6	3/2（土）	谷矢部池公園	谷矢部池公園愛護会／わかぎの会	4
1	4/27（土）	谷矢部池公園	谷矢部池公園愛護会・わかぎの会	11
2	6/29（土）	新治の谷戸田	新治里山「わ」を広げる会	8

6) 道具の使い方研修・森づくり安全管理研修・入門講座企画実施業務（横浜市環境活動支援センター）

<実施期間：2023年6月～2023年12月>

市民と行政の協働による森づくりを推進するため、下記のとおり、森づくり活動に用いる道具の使い方と手入と森づくり活動を安全におこなうための基本姿勢について学ぶ道具の使い方研修、森づくり活動団体の必須研修である安全管理研修、講義・森歩き・実技からなる入門講座の企画と運営を実施した。

研修・講座	開催日
道具の使い方研修	6/24（土）12/23（土）
安全管理研修	10/18（水）10/21（土）11/13（日）
入門講座（大学生対象）	11/18（土）11/23（木祝）
入門講座（一般対象）	10/28（土）11/4（土日）

7) 里地里山入門講座企画実施業務（横浜市みどり環境局農政推進課）

<実施期間：2023年6月～2023年12月>

寺家ふるさと村において、市民参加によるふるさと村の農景観保全を進めるため、水田や樹林地での作業体験や講義を通じて新しい担い手の人材育成を目指すための運営、講師派遣を実施した。

回	開催日	開催場所
1	9/16（土）	寺家ふるさと村の里地里山を知る（ガイダンス：講演&観察会）
2	10/14（土）	寺家ふるさと村の農を感じる（黒米稲刈り）
3	11/11（土）	寺家ふるさと村の森を感じる（下草刈り・除伐体験）
4	11/25（土）	寺家ふるさと村の恵みを味わう（藁ない、かまどご飯の試食）

8) 企業研修の企画・運営

(1) 株式会社NTTデータグループ（NPO法人日本NPOセンター）

NPO法人にはる里山「わ」を広げる会の協力を受けて、NPO法人日本NPOセンターから紹介された（株）NTTデータグループの企業研修を新治里山公園で受け入れた。サステナビリティ向上に向けたリーダー研修として企画し、11/24（金）に9名、12/15（金）に12名が参加、堆肥運び、すすはらい、主屋のぬか磨きなどをおこなった。研修での気づきや学びは業務の中で生かすというより、環境や社会に対する市民としての見方に変化をもたらすことができれば十分だと思われる。

(2) 株式会社NTTドコモ（NPO法人サービスグラント）

NPO法人サービスグラントが提供する企業研修に協力するかたちで、2/13（火）オンラインで、NORAが抱えている課題について（株）NTTドコモの社員9名が半日一緒に考える企画を提供した。

(3) 神奈川スバル株式会社

神奈川スバル（株）の新入社員研修を企画し、4/29（月祝）に川井緑地で34名（+見学者3名）を受け入れた。林内の自然観察、枝の集積、薪割り、皮むきを、スタッフ15名で対応したほか、実習後は本社に移動し、ふりかえりワークショップも担当した。

委員・講師派遣等

1) 委員

○松村正治

- ・横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会長
- ・横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会専門委員
- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会委員
- ・国土緑化推進機構「国民参加による植樹等の推進対策」サポート体制構築事業検討委員

○吉武美保子

- ・神奈川県里地里山保全協議会構成員
- ・横浜市市民協働推進センター事業部会 ※新治里山「わ」を広げる会の肩書で

2) 講師・執筆

○島村雅英

- ・横浜市環境創造局出前講座「ビオトープで小さな生態系を感じてみよう」を11回、のべ401名の児童に対して開催した。

回	実施日	学校名	区	対象	人数
1	7/6（木）	横浜深谷台小学校	戸塚区	4年	22
2	7/7（金）	中村小学校	南区	5年	23
3	7/12（水）	黒須田小学校	青葉区	4年	32
4	9/15（金）	谷本小学校	青葉区	6年	26
5	9/21（木）	川和小学校	都筑区	5年	91
6	9/27（水）	洋光台第三小学校	磯子区	2年	35
7	11/14（火）	太田小学校	南区	ビオトープ委員会	12
8	11/28（火）	日限山小学校	港南区	4年	86
9	12/2（水）	三ツ沢小学校	神奈川区	4年	31
10	6/4（火）	旭小学校	鶴見区	SDGs委員会	13
11	6/20（木）	太田小学校	南区	5年	30

401

○松村正治

- ・8/5（土）横浜市泉区「つながる！地域活動ゼミ」話題提供
- ・10/9（日）朝日地球会議2023「里山～自然と文化の交差点 持続可能なくらしとは」パネリスト
- ・11/19（土）「たかはら里山の集い2023」（くまの木里山応援団）講演
- ・12/17（土）ちば里山カレッジ「広げよう・つなげよう里山活動」（ちば里山センター）講演
- ・2/23（木）里山関係人口フォーラム「里山資源の活用による関係人口創出のデザイン」パネリスト
- ・3/5（火）「環境運動のパブリックヒストリー」（新時代アジアピースアカデミー）話題提供

プロジェクト	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期	備考	
	2010.7-2011.6	2011.7-2012.6	2012.7-2013.6	2013.7-2014.6	2014.7-2015.6	2015.7-2016.6	2016.7-2017.6	2017.7-2018.6	2018.7-2019.6	2019.7-2020.6	2020.7-2021.7	2021.7-2022.6	2022.7-2023.6	2023.7-2024.6		
ヤマ	NORAの山仕事	245	209	231	223	290	296	315	288	391	347	433	468	352	405	2015.7-やま守り編も
	竹を活かす山仕事	5	21	26	36	67	84	94	99	124	65	80	86	88	76	2011.4-
	よこはま里山レンジャーズ			182	153	96	169	81	48	63	75	66	79	68	35	
	里山保全を安全で楽しく							40	40	49	125	163	181	158	147	2019.9-モリダス共催
	里山資源の活用											51	19	83	45	2021.5-
	里山でシゴトづくり						129	98	177	165	41	28	0	0	0	
ノラ	休耕地再生で農体験	67	241	237	94											2011.4-2014.3
	ヨコハマで農業体験	14	18	42	7											2011.4-2014.3
	NORAの野良仕事	11	5	1	4											-2013.12
	森と畑と音楽と				101	320	494	367	281	258	326	246	244	445	475	2013.11-
ムラ	神奈川野菜の食事会	273	197	195	164	103	95	38	73	62	53	18	0	0	0	
	もったいないから竹細工①	100	75	48	82	135	137	135	166	177	141	95	87	83	47	竹かご教室
	もったいないから竹細工②		27	21	42	135	160	264	253	471	462	502	707	733	690	竹細工工房、自主練
	筆とお香	37	6	19	7	41										旧野を描く→筆で描こう
	お話の会	24	110	42	20											旧朗読のタペ
	『食べもの通信』読者会										32	70	63	73	56	2019.12-
	はまどまシアター（映画）			8	27		110	71	51	60	25	0	0	0	0	2013.6-
	はまどまで土間仕事				27	27	135	66	64	26	32	19	13	17	12	2014.2-
	はぶすばラボ											75	58	41	59	2021.12-
	はまどま諸々（会員）					24	130	118	61	47	61	12	6	3	0	旧NORAの部活、手習い塾
	はまどま諸々（非会員）								75	131	21	0	0	0	0	
	NORAサロン・ライブ			51	69	38	0	70	48	56	55	0	0	0	0	2013.12復活
	はまどまオープン										162					2019.8-
はまどまPJ計	434	415	333	420	534	805	692	813	1,022	1,045	846	934	950	864		
イキ モン	旬の里山探訪	60	29	106	148	198	167	176	184	191	127	105				外部スタッフ除く
	トンボとり大作戦							146	127	154	167	225	407	525	380	前期6月分を含む
	Green Gift							79	101	84	51	0	41	0	0	外部スタッフ除く
ハレ	竹細工ワークショップ								68	68						
	特別なハレ		125		54		23	15			27					
合計	836	1,063	1,158	1,240	1,505	2,144	2,111	2,241	2,569	2,369	2,270	2,459	2,669	2,427		
		10周年		TPP			里山ガ-デン	里山ガ-デン			二十歳祝					
サイト訪問者数	1,686	1,732	2,271	2,650	2,762	2,770	3,342	4,707	3,511	3,727	4,259	4,751	4,523	3,883		
サイト閲覧頁数	6,260	5,655	7,316	7,371	7,297	9,113	9,507	12,027	11,199	10,690	12,465	13,201	11,380	10,841		
直帰率	53.20	57.57	57.83	63.64	65.70	60.49	64.46	67.45	67.66	70.27	69.67	71.20	74.61	59.22	(単位: %)	

活動計算書

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

[税込] (単位:円)

自 2023年 7月 1日 至 2024年 6月30日

【経常収益】

【受取会費】

入会金

一般会員受取会費	429,000	
運営会員受取会費	84,000	
賛助会員受取会費	0	513,000

【受取寄付金】

受取寄付金	759,119	759,119
-------	---------	---------

【受取助成金等】

受取助成金	1,934,042	1,934,042
-------	-----------	-----------

【事業収益】

自主事業収入	1,910,600	
受託事業収入	9,494,709	
販売事業収入	0	
その他事業収益	0	11,405,309

【その他収益】

受取利息	113	
雑収入	2,600	2,713

経常収益計

14,614,183

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料手当	0
人件費計	0

(その他経費)

売上原価	1,553,460
調査費	360,000
業務委託費	5,175,520
諸謝金	3,080,833
印刷製本費	6,639
支払手数料	78,822
保険料	138,389
消耗品費	1,290,655
水道光熱費	84,223
地代家賃	949,338
旅費交通費	291,564
通信運搬費	133,750
減価償却費	13,874
租税公課	525,800

その他経費計	13,682,867
--------	------------

事業費計

13,682,867

【管理費】

(人件費)

給料手当	0
人件費計	0

(その他経費)			
業務委託費	268,000		
印刷製本費	6,078		
支払手数料	26,694		
消耗品費	33,700		
水道光熱費	3,607		
地代家賃	40,662		
旅費交通費	81		
通信運搬費	45,385		
諸会費	35,400		
寄附金	500		
調査費	4,400		
会議費	1,402		
租税公課	50,500		
その他経費計	<u>516,409</u>		
管理費 計		516,409	
経常費用 計			<u>14,199,276</u>
当期経常増減額			414,907
【経常外収益】			
経常外収益 計			<u>0</u>
【経常外費用】			
経常外費用 計			<u>0</u>
税引前当期正味財産増減額			414,907
法人税、住民税及び事業税			89,300
当期正味財産増減額			<u>325,607</u>
前期繰越正味財産額			<u>15,212,775</u>
次期繰越正味財産額			<u><u>15,538,382</u></u>

貸借対照表

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
全事業所

[税込] (単位: 円)
2024年 6月30日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	180,000
小口 現金	0	未払法人税等	89,300
普通 預金	14,605,808	未払消費税	518,300
郵便 貯金	992,926	預 り 金	6,126
現金・預金 計	15,598,734	流動負債合計	793,726
(売上債権)		【固定負債】	
未 収 金	24,000	固定負債合計	0
売上債権 計	24,000		
(棚卸資産)			
商品	0		
棚卸資産 計	0		
(その他流動資産)			
前払費用	342,099		
預け金	17,058		
その他の流動資産 計	359,157		
流動資産合計	15,981,891		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
機械装置	34,637		
有形固定資産 計	34,637		
(無形固定資産)			
電話加入権	89,880		
無形固定資産 計	89,880		
(投資その他の資産)			
敷金	225,700		
投資その他の資産 計	225,700		
固定資産合計	350,217		
資産合計	16,332,108		
		負債合計	793,726
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	15,212,775
		当期正味財産増減額	325,607
		正味財産合計	15,538,382
		負債及び正味財産合計	16,332,108

財 産 目 録

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
全事業所

[税込] (単位: 円)

2024年 6月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

小口現金		0
小口現金	本部	(0)
小口現金	ヤマ	(0)
小口現金	島村	(0)
小口現金	竹	(0)
小口現金	はまどま	(0)
小口現金	吉武	(0)
普通	預金	14,605,808
横浜銀行	本部	(7,433,392)
横浜銀行	ヤマ	(484,029)
横浜銀行	島村	(5,754,943)
横浜銀行	吉武	(91,342)
横浜銀行	竹	(97,005)
横浜銀行	本部松村	(745,097)
郵便	貯金	992,926
ゆうちょ銀行	本部	(740,803)
ゆうちょ銀行	どま	(203,238)
ゆうちょ銀行	ヤマ	(48,885)
現金・預金	計	15,598,734

(売上債権)

未収金		24,000
横浜市環境創造局		(24,000)
売上債権	合計	24,000

(棚卸資産)

棚卸資産	計	0
------	---	---

(その他流動資産)

預け金		17,058
Paypal		(17,058)
前払費用		342,099
家賃		(82,500)
2024年度対応保険料		(36,000)
2024年度ウェブサイト保守		(29,700)
2024年度事業対応分		(193,899)
その他の流動資産	計	359,157

流動資産合計 15,981,891

【固定資産】

(有形固定資産)

機械装置		34,637
林業用機器		(34,636)
クローラー式運搬車		(1)
有形固定資産	計	34,637

(無形固定資産)

電話加入権		89,880
日本電信電話(株)		(89,880)
無形固定資産	計	89,880

(投資その他の資産)			
敷金	225,700		
大和ビルディング(株)	(225,700)		
投資その他の資産 計			
固定資産 計		350,217	
資産合計			16,332,108
	《負債の部》		
【流動負債】			
未払金	180,000		
はまどまコーディネーター費用R6.4-6	(180,000)		
未払法人税等	89,300		
法人税	(11,000)		
法人県民税	(20,100)		
法人事業税	(3,100)		
法人市民税	(55,100)		
未払消費税	518,300		
消費税	(518,300)		
預り金	6,126		
源泉税	(6,126)		
流動負債合計		793,726	
負債合計			793,726
正味財産合計			15,538,382

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

2024年 6月30日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1).固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

無形固定資産：定額法

(2).消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は別紙の通りです。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
東京ガス森里海つなぐプロジェクト	500,000	0	500,000	0	
緑の募金	0	677,587	677,587	0	
県森林協議会助成金	0	30,000	30,000	0	
よこはま夢ファンド	670,000	750,000	850,000	570,000	はまどま
よこはま夢ファンド	0	476,455	476,455	0	NORAの山仕事
シボダンジャパン	0	712,755	343,916	368,839	
合計	1,170,000	2,646,797	2,877,958	938,839	

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
林業用機器	940,245	0	0	940,245	940,244	1
クローラー式運搬車	329,400	0	0	329,400	294,764	34,636
(無形固定資産)						
ソフトウェア						
合計	1,269,645	0	0	1,269,645	1,235,008	34,637

【各部門の会費収入】

(単位：円)

部門	金額
ムラ	186,000
ヤマ	63,000
事務局	180,000

事業費の内訳

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

2024年 6月30日 現在

科目	全事業所	ヤマ (収益)	ヤマ (非収益)	ノラ	ムラ (収益)	ムラ (非収益)	受託 (収益)	受託 (非収益)	広報	事務局 (管理)
(受取会費)										
入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般会員受取会費	429,000	0	0	0	0	0	0	0	0	429,000
運営会員受取会費	84,000	0	0	0	0	0	0	0	0	84,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費計	513,000	0	0	0	0	0	0	0	0	513,000
(受取寄付金)										
受取寄付金	1,436,706	677,587	721,865	0	0	538	0	0	0	36,716
受取寄付金計	1,436,706	677,587	721,865	0	0	538	0	0	0	36,716
(受取助成金等)										
受取助成金	1,256,455	0	506,455	0	750,000	0	0	0	0	0
受取助成金等計	1,256,455	0	506,455	0	750,000	0	0	0	0	0
(事業収益)										
自主事業収入	1,910,600	152,000	0	0	1,736,600	22,000	0	0	0	0
受託事業収入	9,494,709	0	0	0	0	0	9,362,709	132,000	0	0
販売事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益計	11,405,309	152,000	0	0	1,736,600	22,000	9,362,709	132,000	0	0
(その他収益)										
受取利息	113	0	1	1	3	0	26	0	0	82
雑収入	2,600	0	0	0	2,600	0	0	0	0	0
その他収益計	2,713	0	1	1	2,603	0	26	0	0	82
経常収益計	14,614,183	829,587	1,228,321	1	2,489,203	22,538	9,362,735	132,000	0	549,798
(人件費)										
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(その他経費)										
売上原価	1,553,460	0	0	0	1,553,460	0	0	0	0	0
調査費	364,400	0	0	0	0	0	360,000	0	0	4,400
業務委託費	5,443,520	0	120,000	110,000	720,000	0	4,195,620	0	29,900	268,000
諸謝金	3,080,833	439,000	0	0	0	0	2,531,833	110,000	0	0
印刷製本費	12,717	0	0	0	2,782	0	3,857	0	0	6,078
支払手数料	105,517	7,107	2,990	1,100	7,286	47	57,710	1,923	660	26,694
保険料	138,389	0	71,239	0	67,150	0	0	0	0	0
消耗品費	1,324,355	198,780	950,231	33,000	49,193	0	59,451	0	0	33,700
水道光熱費	87,830	5,443	0	0	16,333	148	61,433	866	0	3,607
地代家賃	990,000	61,355	0	0	184,098	1,667	692,455	9,763	0	40,662
旅費交通費	291,645	86,528	3,260	0	200,368	3	1,385	20	0	81
通信運搬費	179,134	6,531	0	0	19,595	3,777	76,505	1,039	26,302	45,385
諸会費	35,400	0	0	0	0	0	0	0	0	35,400
寄附金	500	0	0	0	0	0	0	0	0	500
会議費	1,402	0	0	0	0	0	0	0	0	1,402
減価償却費	13,874	0	13,874	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	576,300	6,906	0	0	79,018	1,000	432,880	5,996	0	50,500
その他経費計	14,199,276	811,650	1,161,594	144,100	2,899,283	6,642	8,473,129	129,607	56,862	516,409
経常経費計	14,199,276	811,650	1,161,594	144,100	2,899,283	6,642	8,473,129	129,607	56,862	516,409
当期正味財産増減	414,907	17,937	66,727	-144,099	-410,080	15,896	889,606	2,393	-56,862	33,389

監査報告書

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
理事長 松村正治 殿

第24期事業年度（2023年7月1日から2024年6月30日まで）の事業報告、活動計算書、貸借対照表、財産目録を監査した結果、法令や定款に則して適切に処理、記載されていることを認める。

以 上

2024年 8月 22日

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

監事 平石真司 

(千円)	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	15期	16期	17期	18期	19期	20期	21期	22期	23期	24期
当期収入合計	4,622	12,870	26,665	23,441	25,389	15,341	7,073	8,353	14,125	6,016	8,144	9,029	5,740	3,060	5,476	7,619	12,794	10,740	12,294	13,283	11,597	12,693	13,418	14,614
当期支出合計	4,069	11,959	22,184	24,567	21,946	18,672	10,380	6,946	11,174	6,633	7,953	7,644	5,261	3,601	4,984	6,702	10,669	9,256	11,912	11,987	10,273	12,431	13,364	14,289
当期収支差額	552	911	4,481	-1,126	3,443	-3,331	-3,307	1,408	2,950	-617	191	1,385	480	-542	492	916	2,125	1,483	382	1,296	1,324	262	54	326

前期繰越収支差額	0	552	1,464	5,945	4,819	8,262	4,932	1,624	3,032	5,983	5,366	5,557	6,942	7,422	6,880	7,372	8,288	10,413	11,896	12,278	13,574	14,897	15,159	15,213
次期繰越収支差額	552	1,464	5,945	4,819	8,262	4,932	1,624	3,032	5,983	5,366	5,557	6,942	7,422	6,880	7,372	8,288	10,413	11,896	12,278	13,574	14,897	15,159	15,213	15,538

(人)

自主事業参加者数											836	1,063	1,158	1,240	1,505	2,144	2,111	2,241	2,569	2,369	2,270	2,459	2,669	2,427
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

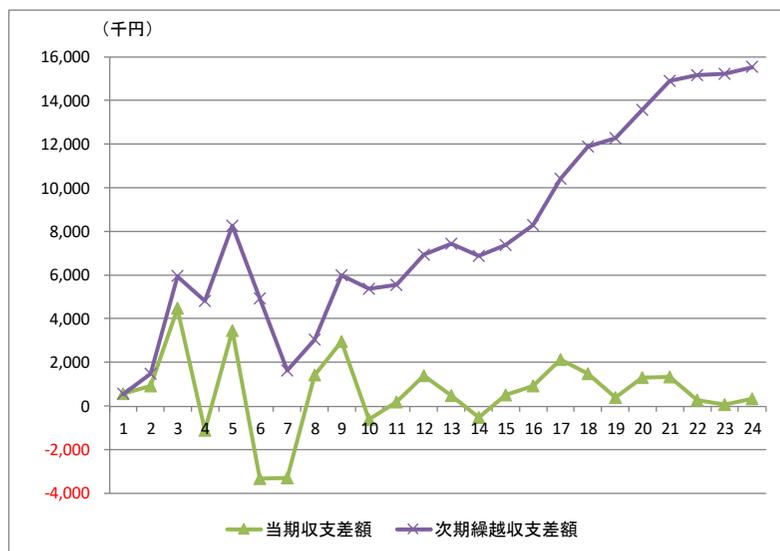


図 当期収支差額および次期繰越収支差額の推移

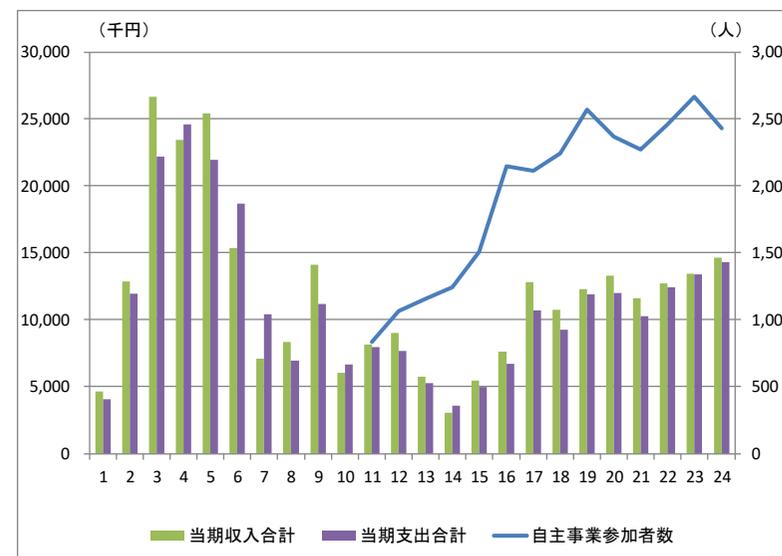


図 当期収入合計および当期支出合計の推移

※1～9期の事業期間は1月～12月、11期以降の事業期間は7月～翌年6月
10期の事業期間は2010年1月～6月の6か月間

第3号議案 第25期事業計画（2024年7月～2025年6月）

2000年に設立したNORAは、今期で25周年を迎える。そこで、私たちの活動の源流をたどると、それは舞岡の谷戸の公園づくりに象徴される1980-90年代の里山保全運動にさかのぼることができるだろう。この運動は、都市住民が身近な自然に関わりながら、自らがコミュニティをつくる当事者となり、現代のコモンズを主体的につくり出す運動であった。第25期は、この活動の原点を思い起こし、地域ごとに個性ある里山コモンズの保全・再生と持続可能なコミュニティづくりをすすめるために、「里山とかかわる暮らし」を自ら実践し、社会に向けて提案していきたい。

グローバルな環境問題に目を向けると、2030年までに生物多様性の損失を止め、回復傾向へと向かわせる「ネイチャーポジティブ」と、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにする「カーボンニュートラル」を実現することが、国際的な目標となっている。地球規模の課題を前にすると、NORAのような小さなNPOが環境や社会に与える影響は非常に小さいように見える。だから、私たちは活動の量よりも質にこだわりたい。特に、活動をすすめるプロセスにおいて対話を重視したい。それは他者との対話だけでなく、自然との対話、歴史との対話、自分との対話も含む。一方的に話すのではなく、対等に話し合う場を作ること、聞くために耳をすませることを意識したい。

NORAの運営メンバーは固定化・高齢化してきており、内部の人材養成や他団体との協働・連携を計画的に進めていく必要がある。しかし、その前に、あらためてミッション・ビジョン・バリューの確認や、2030年時点のありたい姿を想像しながら、NORAらしい中長期計画を描きたい。

第25期は、下記3つの重点方針を掲げつつ、定例の自主活動（ヤマ・ノラ・ムラ・ハレ・イキモノ）をすすめることで、「根を持つことと翼をもつこと」を両立させていく。

①コーディネーターを中心とした「はまどま」活用の推進【ムラ】

「はまどま」が「街なかの里山の入り口」としてよりよく活用されるように、コーディネーターが中心になって新しい参加者・担い手を増やしていく。神奈川県のパブリックリレーションズ・サポート・プログラム」の支援を受けて、「はまどま」からの情報発信に力を入れるとともに、興味関心のある人と対話を重ね、その人のポテンシャルを引き出しながら、1つひとつの企画を練り上げていく。将来的には、活動拠点として「はまどま」が成熟していく中から「はまどま」のホームページが立ち上がり、さらにコモンズとして「はまどま」が新たな担い手を含めて自主的に運営されていくかたちを目指す。

②都市近郊における里山保全モデルづくり【ヤマ】

現在の里山保全活動は、ボランティアの高齢化によって継続することが難しくなっているとところが多いことから、セミプロや複業として関わる担い手を想定し、人材育成を図って

いくという方向性が見えてきた。また、特に都市近郊の里山では、資源を直接利用するのではなく利用体験をサービスに変えて付加価値を高めたり、里山を空間として利用したりすることが必要になっている。こうした背景を踏まえて、川井緑地では保全管理計画に基づいた活動を進めるとともに、グリーンウッドワークの普及にも努めながら、里山生態系の保全、発生材の有効利用、山仕事の担い手育成の点において、都市近郊における里山保全のモデルづくりを進める。

③新規事業の立ち上げと従来事業の総点検

NORA らしい中長期計画を描くことと並行して、これまで展開してきた自主事業を総点検し、NORA が今後力を入れて取り組むべき事業の柱を明確にしたい。その際、内部メンバーの力だけに頼るのではなく、他団体との新たな協働・連携を促進するための支援制度を検討し、今期内に運用を開始したい。

自主事業

1. ヤマ事業

1) NORA の山仕事 {別紙計画書のとおり}

2) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}

3) よこはま里山レンジャーズ（連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会） {別紙計画書のとおり}

4) 都市の里山の活用推進（令和 6 年度「緑の募金」公募事業） {別紙計画書のとおり}

6) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり

「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかす仕事」の両立を求め、環境 NPO 運営スタッフ懇談会を定期開催し、バックオフィスの効率化とともに事業協同組合の可能性を探る。

7) 安全で楽しい森林づくり活動を指導できるリーダー養成事業

（主催：モリダス、令和 6 年度「緑と水の森林ファンド」）

モリダス主催事業と共催するかたちで人材育成事業を実施し、安全で楽しい里山保全・森林づくり活動を指導できる現場リーダーを養成するほか、横浜・多摩地域の活動団体のネットワークを強化する。

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と {別紙計画書のとおり}

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

(1) もったいないから竹細工 {別紙計画書のとおり}

- (2) はまどまで土間仕事 {別紙計画書のとおり}
- (3) 『食べもの通信』読者会 {別紙計画書のとおり}

2) 地域連携・ネットワーク

南区役所、宮宿花1・2丁目町内会、蒔田公園愛護会、フォーラム南太田、睦地域ケアプラザなど、蒔田地区周辺の公共機関・団体との連携を深める。また、横浜コミュニティカフェネットワークの一員として、ネットワーク活動に協力する。

4. ハレ事業

新規プロジェクトの立ち上げを促し、25周年記念事業へと繋げる。

5. イキモノ事業

1) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

フォーラムの一員として森里川海と連携し、生物多様性保全に繋がる活動を実施する。

6. 広報事業

1) ウェブサイト更新・メールマガジン配信・SNSによる情報発信

ウェブサイトと連携しながら、定期的に「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」を配信して、効果的に情報を発信する。また、SNSを利用して柔軟かつ迅速な情報発信に努め、特にストーリーやショート動画など、動きのある素材を有効に活用していく。

2) 活動報告書の作成

2024年の活動報告書を作成し、年末に年会費の依頼とともに会員に送付する。

協働・受託事業

適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。また、ボランティア体験、インターンシップの受入は、可能な限り引き受ける。

- ・森づくりボランティア体験事業業務（横浜市みどり環境局）
- ・保育所・小中学校等ビオトープ整備等支援業務（横浜市みどり環境局）
- ・道具の使い方研修・森づくり安全管理研修・入門講座企画実施業務（横浜市みどり環境局）
- ・長浜公園トンボ池管理等業務（横浜市緑の協会）
- ・根岸森林公園トンボ等調査（横浜市緑の協会）
- ・野島公園ビオトープ環境改善業務（横浜市緑の協会）
- ・トンボとり大作戦開催業務（横浜植木）

委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。

■NORA 第 25 期プロジェクト計画書(2024 年 7 月～2025 年 6 月)

プロジェクト名	NORA の山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	中林博志、島村雅英		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用する・繋ぐ森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくる ・森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかわる暮らしを横浜で実践する 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ研修 4 期生の実施 ・資材管理の徹底 ・設備補修などの拡充 ・次世代へ繋ぐ森づくりへの環境整備 		
内容	常緑樹の除伐や下草刈、落葉樹苗の育苗から定植など、豊かな森づくりを目標に作業を行っている。除伐した材を有効活用するために、丸太を製材しスツールなどの木工品を製作したり、薪などにも利用したりしている。		
日時	定例:第 2・第 4 日曜日 やま守り編:不定期 実施時間 10:00～16:00		
場所	旭区下川井町 特別緑地保全地区		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:30 作業リーダー集合 ミーティングをおこない作業内容などを確認 10:00 一般参加者集合 作業リーダーの指示に従い、使用する道具の準備 10:30 現場にて作業開始 12:00 昼食 13:00 作業開始 15:00 作業終了 道具の整備、活動の振り返りと予定を確認 16:00 解散		
一般募集の有無	有:定員未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:グリーンボランティア保険加入料として @500 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	会費収入	84,000 円	
	資材販売収入	30,000 円	
	県森林協会支援金	30,000 円	
	緑の募金	650,000 円	
	合計	794,000 円	
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	グリーンボランティア保険	120,000 円	(@6,000 円×20 回程度)
	委託費	120,000 円	(1 万円×12 か月)
	消耗品費	70,000 円	(燃料・工具修理等)
	資材費	40,000 円	
	ウッドワーク経費	206,000 円	
	合計	794,000 円	
収支見込額(a-b)	0		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2024 年 8 月 15 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 25 期プロジェクト計画書(2024 年 7 月～2025 年 6 月)

プロジェクト名	竹を活かす山仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	三宅健也		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れを行なう ・竹林整備を行なうことで、恵みある里山の生態系を維持する ・整備活動によって排出された竹材を有効活用する 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業への継続的な参加者を募ると共に、運営を担えるスタッフを募る ・民有地の竹林整備を継続する ・良質な材を生産できる竹林を目標とし、整備を行う ・横浜市内で生産性を望める竹林を探す 		
内容	南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業を行う。切り出した竹は、竹かごを編む為の竹ひご作りに用いたり、カトラリーを製作する材料として活用する。 ※7月～9 月の間は、酷暑を考慮し中井町での伐り出し作業は無し		
日時	毎月第 3 日曜日 10:00～15:00		
場所	南足柄郡中井町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:00 京浜急行 上大岡駅集合(10:00 セブンイレブン中井遠藤店) 10:30 現地到着 作業開始 12:00 昼休み 13:00 作業再開 14:00 作業終了 材の積み込み 15:00 現地解散		
一般募集の有無	有:定員未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:@500 円(中井集合)・1,000 円(上大岡集合)		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費	@500×4 人×10 回=20,000 円	
		@1,000 円×4 人×10 回=40,000 円	
	収入計	60,000 円	
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	交通費	22,600 円(@2,260×10 回)	
	燃料費	17,000 円(@1,700×10 回)	
	消耗品費	20,400 円	
	支出計	60,000 円	
収支見込額(a-b)	0		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2024 年 8 月 15 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 25 期プロジェクト計画書(2024 年 7 月～2025 年 6 月)

プロジェクト名	よこはま里山レンジャーズ		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	島村雅英		
スタッフ (リーダーを除く)	よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー(松村、下山、吉武、中林)		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活動に新たなメンバーが加わり、環境活動団体の活性化を支援が図られる。 ・レンジャーズ活動が推進される。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーズを延べ 9 回、里山等保全活動に派遣する。 ・活動をとおりて運営スタッフやレンジャーズリーダーとなりうる人材を育成する。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーズ受け入れ団体となる環境活動団体と活動内容、日程の調整をおこない、レンジャーズ隊員を派遣する。 ・レンジャーズリーダーを育成する。 ・森づくりボランティア体験事業(横浜市)と連携し参加案内をレンジャーズに発信する。 ・よこはまの森助っターズとの相互連携を図る 		
日時	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーズ派遣:年間スケジュールのとおり ・森づくりボランティア体験事業の案内発信:6 回 		
場所	レンジャーズ派遣先:受け入れ団体活動場所(年間スケジュール参照)		
年間スケジュール	7/14 (日) 川井緑地	よこはま里山研究所	里山保全
	11/10 (日) 恩田の谷戸	恩田の谷戸ファンクラブ	収穫祭、脱穀・粃すり
	12/1 (日) 桜ヶ丘緑地	桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト	里山保全
	2/11 (日) 瀬上市民の森	瀬上さとやまのりの会	樹林地の除伐、間伐
	3/1 (土) 谷矢部池公園	わかぎの会	樹林地整備
	6 月 元町公園プール	横浜にとんぼを育てる会	トンボのヤゴ救出
一般募集の有無	レンジャー登録を原則、1回あたり 10～20 人 レンジャーズ登録はメルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ		
参加費の有無	無料		
収入見込額(a)	事業収入	60,000 円	森づくりボランティア体験事業から
	<計>	60,000 円	
支出見込額(b)	謝金	60,000 円	@10,000 円×6 回 リーダー派遣
	<計>	60,000 円	(交通費含む)
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携等を適当に記入)	レンジャーズ名簿管理:自然環境復元協会 受け入れ団体:恩田の谷戸ファンクラブ、瀬上さとやまのりの会、桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、わかぎの会、横浜にとんぼを育てる会		
作成年月日	2024 年 8 月 15 日	作成者名	島村雅英

■NORA 第 25 期プロジェクト計画書(2024 年 7 月～2025 年 6 月)

プロジェクト名	都市の里山保全技術継承と里山資源活用推進(グリーンウッドワーク・ワークショップ)		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	島村雅英		
スタッフ (リーダーを除く)	下山康博、中林博志、小西陽二		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・川井緑地等の活動で産出する間伐材や生育する植物資源等を有効活用することで、持続的な里山保全及びその活動が推進される。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活動で産出した材の有効活用を図るための技術を習得する ・ワークショップの開催により、活用方法の普及を図る。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①グリーンウッドワーク ワークショップの開催 有償のワークショップの開催 ②グリーンウッドワークショップ 自主活動 ワークショップ参加者による自主活動 		
日時	9:30～16:00		
場所	にいほる里山交流センター、川井緑地		
年間スケジュール	ワークショップ 9/15、10/13、11/17、12/15、1/26、2/16、3/15、16、4/20、5/18 研修会 1/12(日)、1/13(月祝) 自主活動はワークショップと同日開催		
一般募集の有無	有: 定員未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	ワークショップ 参加費 4000 円を予定		
収入見込額(a)	緑の募金	550,000 円	@4000 円×5 人×10 回
	参加費	200,000 円	
	<計>	750,000 円	
支出見込額(b)	ワークショップチラシ作成	20,000 円	
	資機材費	200,000 円	
	講師経費(謝金、交通費)	300,000 円	
	講師交通費	100,000 円	
	その他諸経費	80,000 円	
	<計>	700,000 円	
収支見込額(a-b)	50,000 円		
備考(他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2024 年 8 月 12 日	作成者名	島村雅英

■NORA 第25期プロジェクト計画書(2024年7月～2025年6月)

プロジェクト名	森と畑と音楽と		
カテゴリー	ノラ		
リーダー	中川 櫛		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕農地を利用することで地域環境や農地を維持する。 ・参加者が一連の農作業を体験することで、作物を育て収穫する喜びを体感する。 ・常時作付けが可能なように土地を管理する。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者ではなく、準備運営に携わるスタッフの確保 ・マーケットやマルシェなど生産物の消費先(販路)の拡大 ・畑の効率的な利用方法の検討および実践 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農地管理(草刈り・草取り・耕耘) ・作物の育成(作付け・施肥・防虫管理・収穫) ・収穫体験の実施 ・活動場所で採れた野菜を使った料理 ・林産物や伐採樹木の活用 ・子ども向け環境教育の実施 ・音楽会の実施 ・クラフト全般(おもに木工。電動工具も使用) 		
日時	基本的に毎週日曜日 10:00～17:00 (土曜日活動になることもあり:要連絡)		
場所	厚木市七沢・伊勢原市日向		
年間スケジュール	7月 野菜収穫 草刈り 種まき 田んぼの草刈り 8月 夏野菜収穫 草刈り 畝作り 種まき・苗植え付け 水田草取り 9月 草取り 苗植え付け 種まき 10月 草刈り 草取り 収穫作業 稲刈り 12月上旬 収穫祭 11～2月 収穫作業 クラフト(伐採した木材等の活用) 2～3月 耕耘・クラフト・イベント出展・子ども自然体験プログラム(川遊び・昼食作り) 4月 種まき 中旬～下旬 草刈り 耕運 施肥 5月 苗植え付け 種まき 草刈り・畝作り 水田のための水路清掃 4～6月 種まき ニンニク収穫 苗植え(サツマイモ) 草刈り 6月 田植え (田植え体験)		
一般募集の有無	有 (定員未定)		
参加費の有無	有 (参加プログラムによる)		
収入見込額(a)	農業体験委託 60,000円 活動参加費 80,000円 <計> 140,000円	@500円×160人	
支出見込額(b)	購入費 70,000円 借地料 40,000円 燃料代ほか 30,000円 <計> 140,000円	種苗 20,000円、肥料 5,000円、資材 45,000円 地主4名へのお礼 ガソリン・オイル代 20,000円、雑費 10,000円	
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2024年8月15日	作成者名	中川 櫛

■NORA 第25期プロジェクト計画書(2024年7月～2025年6月)

プロジェクト名	もったいないから竹細工		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)	アドバイザー:小田切一明・小林準治・三宅健也 アシスタント:清水富紀雄・田下泰人・中條真樹子		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・竹林整備で排出された竹材を有効活用する ・竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る ・竹材の価値を見出すことで、竹林整備への人員を誘う ・会員を誘致し、会費収入を増やす 		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいアドバイザーの育成&増員を考える ・次世代を担うマネージャーの発掘 		
内容	竹かご教室:四海波かご作りのワークショップに特化し、修了後は工房作業への参加を促す 竹細工 工房:竹ひご作りの練習や竹かご製作、カトラリー作り等 WS を行う		
日時	毎月第4土曜日 (竹かご教室) 13:00～17:00 毎月第1水曜・第2土曜・第3木曜・第4月曜(工房作業) 9:30～12:00/13:00～16:30		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	有:定員12名 (NORA メルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:@1,000～3,000円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	参加費 288,000(竹かご教室) 1,440,000(竹細工工房) 会費収入 279,000 収入計 2,008,000	@4,000×6人×12回 @3,000×10人×4回/月×12回 ※ 参加人数は平均値 ※ 会費収入は昨年度比	
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	はまどま使用料 200,800 経費 1,807,700 支出計 2,008,000		
収支見込額(a-b)	0		
備考(他団体との連携等を適宜に記入)			
作成年月日	2024年8月15日	作成者名	下山康博

■NORA 第25期プロジェクト計画書(2024年7月～2025年6月)

プロジェクト名	はまどまで土間仕事		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	矢野真美		
目的	自分の手から生まれるものはすべて美味しい。自分で選んで、自分で手を入れて、自分の心を全力で込めて作り出すものすばらしさを、みんなで味わう場。2024年はほぼ活動ができなかったため、少しずつ復活してゆく。		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・四季が美味しくしてくれるものを全力で見つけて、共有する。 ・美味しいものを自分で作る喜びを知る。手間とは食いしん坊が大好きな「愛」。その手間すらも、美味しいを体感するために積極的にやっていく。美味しいと、幸せになれるという感覚を体感する。 		
内容	神奈川県産の素材を積極的に使って、普段の生活にガチに取り入れられるエッセンスを惜しげもなく伝えます。三好さんから神奈川県内産・生産者限定の野菜を入手できなくなったため、隣駅の直売所から近隣産の素材を仕入れる。		
日時	季節ごとのタイミングで、2～3か月に1度を予定。		
場所	はまどま		
年間スケジュール	10月から開催予定		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a)	参加費 <計>	105,000円 105,000円	@3,500円×5×6回 (3,000～5,000円)
支出見込額(b)	消耗品費 はまどま運営費 <計>	84,000円 21,000円 105,000円	@500円×7×6回
収支見込額(a-b)	0円		
備考			
作成年月日	2024年8月14日	作成者名	矢野真美

■NORA 第25期プロジェクト計画書(2024年7月～2025年6月)

プロジェクト名	『食べもの通信』読者会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	伊藤洋子		
目的 (箇条書きで記入)	月刊情報誌『食べもの通信』の定期購読をすすめつつ、少しずつ信頼できる新しい情報にふれ、学び合う場をつくる。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	リモート開催が定着している。「はまどま」での参加と、リモート参加を呼び掛けている。		
内容	伊藤洋子さんの zoom ホストと司会進行。最新号から参加者が気になった記事を発表し全員で感想、経験、意見などを出し合う。Zoom 流の発言の仕方、映像を使ったコミュニケーションにも慣れて、回を重ねるごとに楽しい時間となっている。		
日時	定例日・毎月第2月曜日 ※祝日等の場合は、参加者で相談する。		
場所	はまどまとリモート		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	順調ならば毎月開催。年間12回。内容によっては、特別開催も積極的に企画したい。		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	1回500円・6回分前納2,000円(回数券方式) 参加費24,000円(6名×4,000円)		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	Zoomホスト手数料	2,000円	
	はまどま運営協力費	20,000円	
	事務費(資料作成コピー代・ノート代等)	2,000円	
収支見込額(a-b)	0円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)	『食べもの通信』発行・家庭栄養研究会はじめ、「食べもの通信」を通してつながることができる団体。		
作成年月日	2024年8月14日	作成者名	三好豊

第4号議案 第25期（2024年7月～2025年6月）予算

[収入]

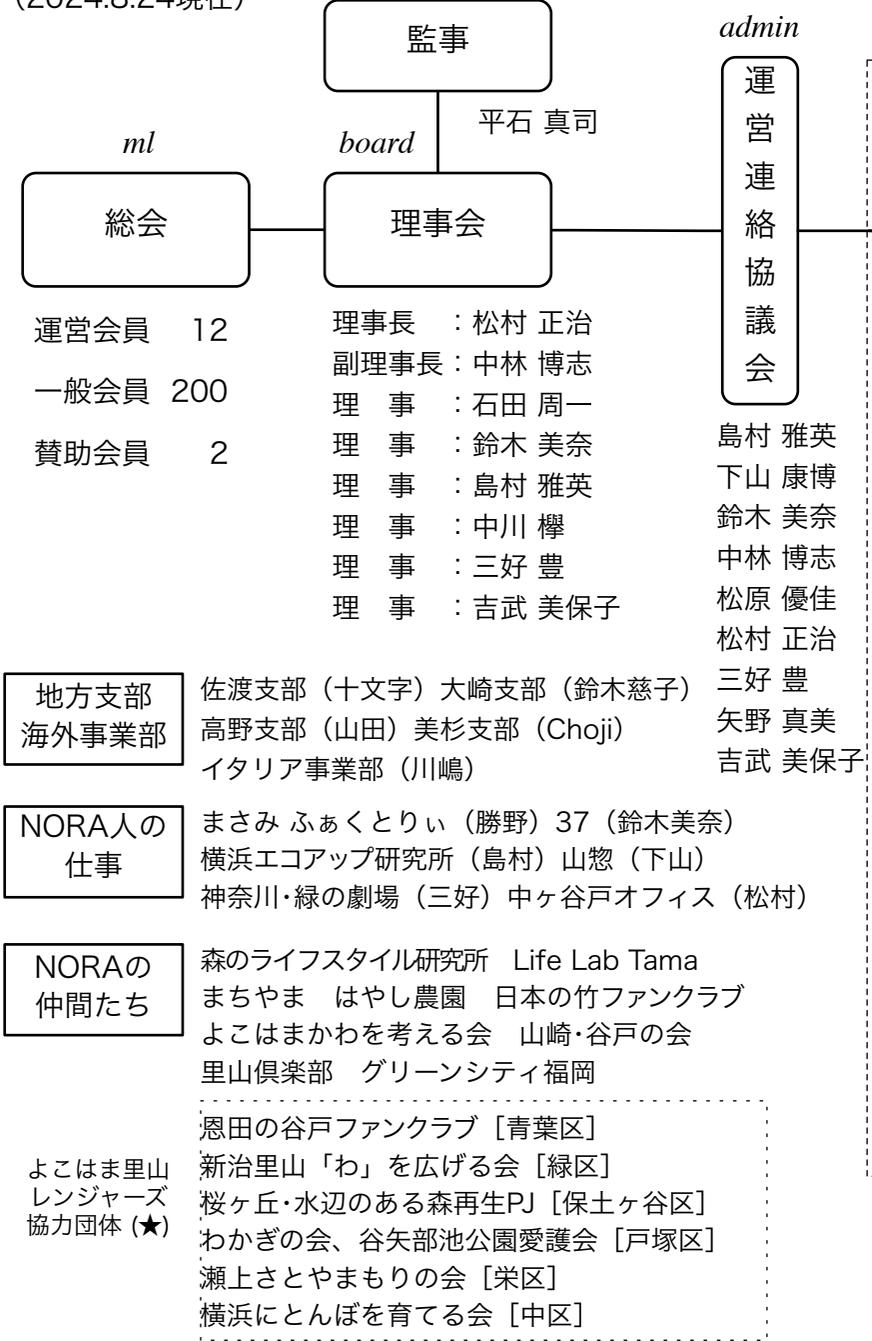
科目	第23期決算額	第24期予算	第24期決算額	第25期予算額	備考
会費	619,000	600,000	513,000	600,000	運営会員@12,000*15+一般会員@3,000*140
寄付金	965,014	150,000	759,119	100,000	
助成金	1,693,208	1,350,000	1,934,042	1,800,000	緑の募金650千円、よこはま夢ファンド850千円、神奈川県森林協会30千円
自主事業収入	1,947,900	2,100,000	1,910,600	2,150,000	竹細工1,828千円、グリーンウッド 200千円、土間仕事105千円各事業参加費等
販売収入	8,576	50,000	0	50,000	資材販売
受託事業収入	8,158,100	8,655,000	9,494,709	8,400,000	森ボラ体験4,235千円、トンボ池管理998千円、里山入門等914千円等
雑収入	25,710	10,000	2,713	0	
当期収入合計 (A)	13,417,508	12,915,000	14,614,183	13,100,000	

[支出]

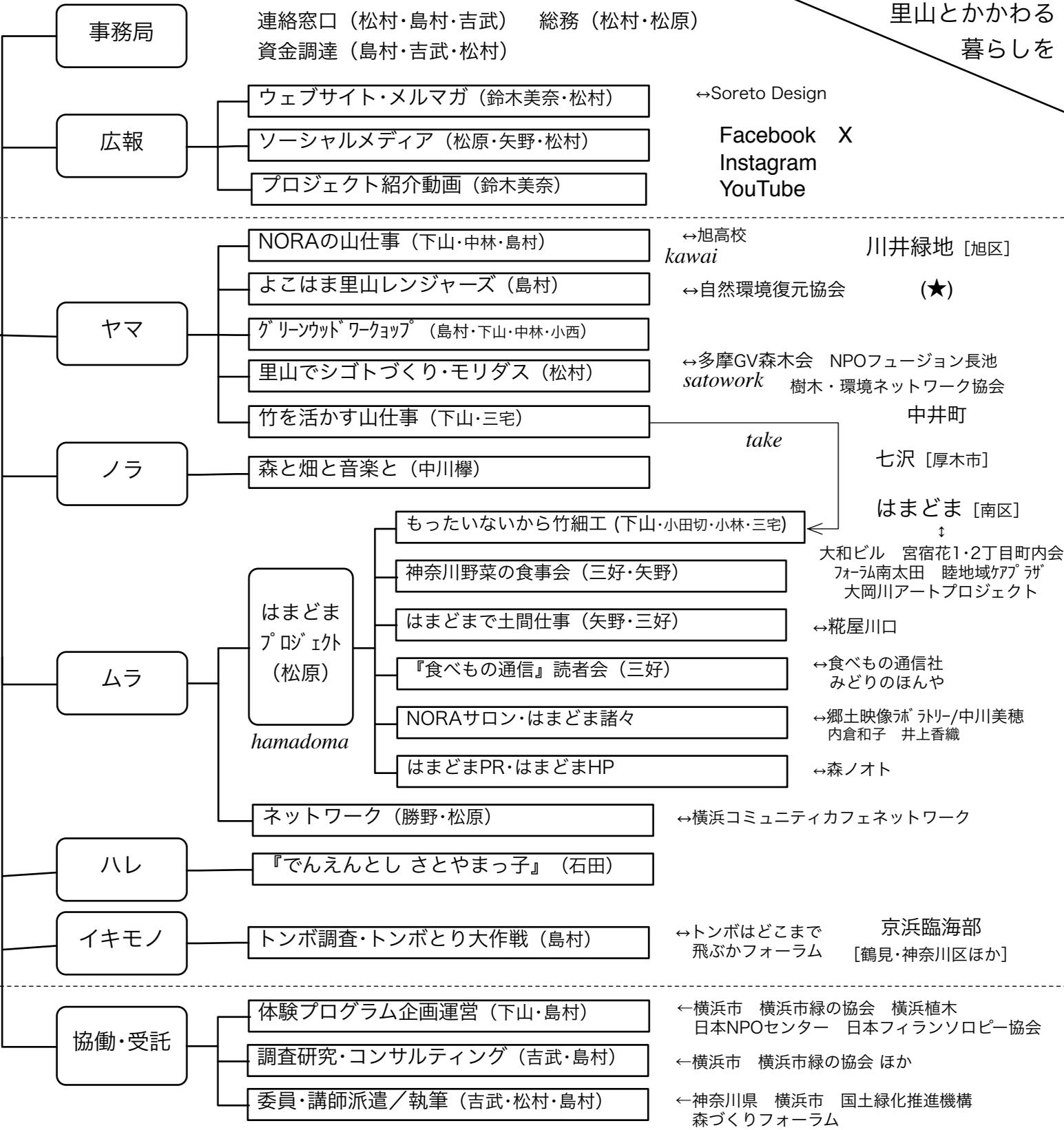
科目	第23期決算額	第24期予算	第24期決算額	第25期予算額	備考	
事業人件費	給料手当	0	0	0	0	研究員給料
	臨時雇賃金	0	0	0	0	
	役員報酬	0	0	0	0	
	法定福利費	0	0	0	0	社会保険料、労災保険料
事業経費	事業仕入	1,544,906	1,700,000	1,553,460	1,600,000	事業仕入、販売仕入
	調査費	360,000	380,000	360,000	500,000	理事長@40,000円*12、研修会参加
	事業委託費	4,631,227	4,600,000	5,175,520	4,600,000	受託事業、山仕事、デザイン料、外注費
	諸謝金	3,775,341	3,400,000	3,080,833	3,000,000	講座講師謝礼
	印刷製本費	402,981	20,000	6,639	20,000	報告書印刷、コピー代
	支払手数料	61,919	60,000	78,822	60,000	振込手数料
	修繕費	17,590	50,000	0	50,000	
	保険料	111,876	150,000	138,389	190,000	グリーンボランティア保険、イベント保険、事業活動総合保険
	消耗品費	616,593	450,000	1,290,655	450,000	山仕事道具、工具
	器具備品費	0	100,000	0	0	
	水道光熱費	113,975	120,000	84,223	100,000	
	地代家賃	942,696	950,000	949,338	950,000	家賃@82,500円*12を収入費で按分
	賃借料	22,000	50,000	0	30,000	レンタカー、チャーター、会場借上
	会議費	0	10,000	0	10,000	会議室料、茶代等
	旅費交通費	11,980	30,000	291,564	150,000	講師旅費
	通信運搬費	157,833	180,000	133,750	150,000	郵送料、備品送料、電話・通信、ネット使用料
	減価償却費	19,458	15,000	13,874	10,000	クローラー式運搬車
広告宣伝費	0	50,000	0	40,000		
租税公課	2,000	5,000	525,800	500,000	消費税	
雑費	0	5,000	0	5,000		
管理費	調査費	0	0	4,400	5,000	
	業務委託費	231,000	240,000	268,000	270,000	経理・決算・納税委託
	印刷製本費	6,718	10,000	6,078	10,000	
	支払手数料	11,132	30,000	26,694	30,000	ネットバンキング25千円
	消耗品費	27,469	30,000	33,700	30,000	文具、衛生用品
	水道光熱費	5,719	10,000	3,607	10,000	
	地代家賃	47,304	40,000	40,662	40,000	
	会議費	0	0	1,402	0	
	旅費交通費	0	10,000	81	10,000	
	通信運搬費	38,084	20,000	45,385	40,000	電話・通信、ネット使用料
経常外	諸会費	48,900	20,000	35,400	30,000	町内会費、ネットワーク団体会費
	租税公課	0	5,000	50,500	50,000	
	雑費	7,544	5,000	500	0	
	固定資産除却損	0	0	0	0	
前期損益修正損	0	0	0	0		
法人税、住民税及び事業税	147,400	150,000	89,300	140,000		
当期支出合計 (B)	13,363,645	12,895,000	14,288,576	13,080,000		
当期収支差額 (A)-(B)	53,863	20,000	325,607	20,000		

特定非営利活動法人
よこはま里山研究所～NORA
nora-yokohama.org
(2000年4月設立 2001年5月9日法人登記)

(2024.8.24現在)



office@nora-yokohama.org



里山とかかわる暮らしを

里山コネクトin多摩・神奈川 satoyama-connect.info ↔a-con
城山コネクトin神奈川相模原 shiroyama-connect.info ↔相模原市 小松コスモス会 「小松・城北」里山をまもる会